

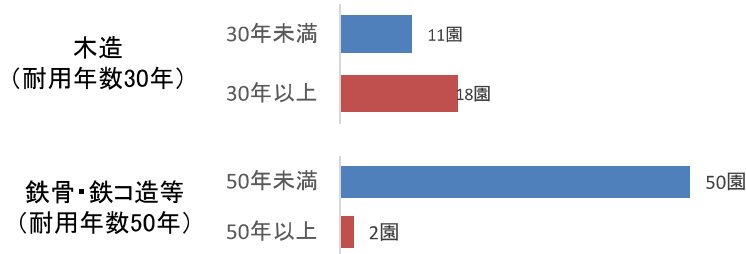
市立保育園配置計画に基づく 山田保育園・寺地保育園の閉園（案）について

資料 1

1 配置計画：なんのために行うの？ 《計画策定の背景、現状と課題》

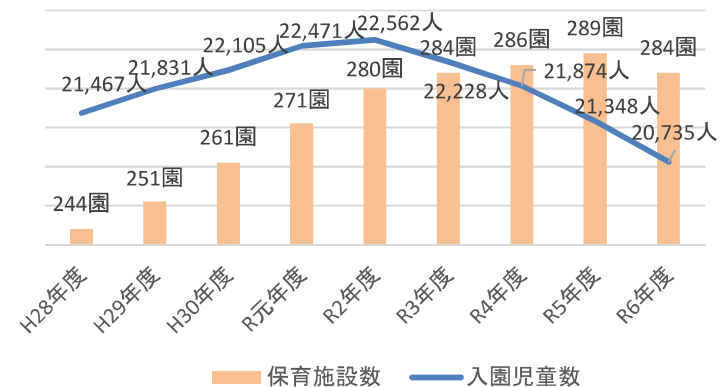
- 本市では、多くの市立保育園で老朽化等が進んでおり、保育環境の改善が喫緊の課題となっています。
- 一方で、近年、民間保育施設の増加や入園児童数の減少が進むなど、近い将来待機児童対策に一定の目途が立つと見込まれる中、保育施策の重点を「量(受け皿の増加)」から「質(保育の質の向上)」へシフトしていく転換期を迎えています。
- これらの状況を踏まえ、市立園の民営化等を通じて老朽化等の(環境面の)課題を解消しつつ、地域の保育需給バランスを適正化するとともに、その過程で生まれる資源を活用することで、より質の高い保育サービスを提供し続けていくため、平成30年10月に「市立保育園配置計画」を策定しました。

市立園の構造別・建築年数
(2023年度末)



※耐用年数は、税法上の減価償却資産耐用年数を参考に設定したものであり、耐用年数を超えた施設がただちに使用できなくなるわけではない(全ての施設について耐震改修済みであり、安全性確保のための対応を行っている)。

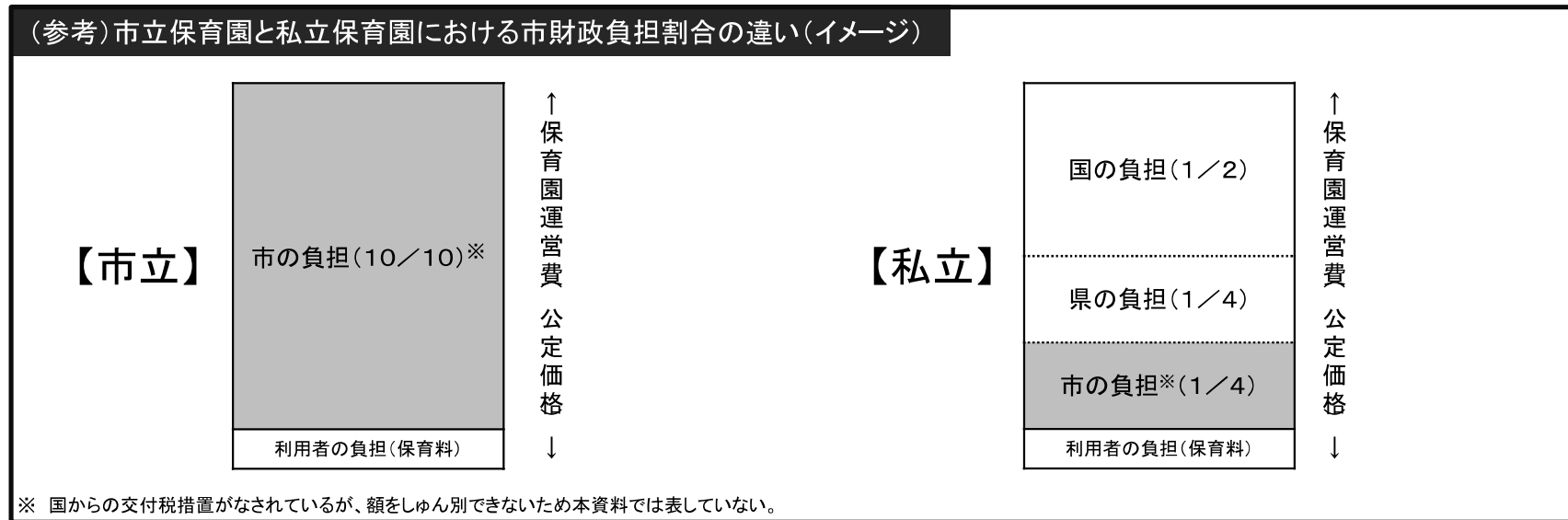
新潟市における
保育施設数・入園児童数の推移



1 配置計画：何を行うの？ 《適正配置の方向性、市立保育園の役割》

◎待機児童の発生が見込まれる地域では、民間の力を最大限活用し定員拡充を行うとともに、保育ニーズの減少が見られる地域の市立園の統廃合等を進めることで、**量の確保・適正化**を図ります。

◎老朽化が進んだ市立園を中心に民営化を進めるなど、保育サービスの提供に民間の力を最大限活用することで、**多様な保育サービスの提供と持続的な行財政運営の実現**を図ります。



◎市立（行政）は、私立とともに地域における子育てのセーフティネット機能を果たすとともに、質の向上等に向けた支援機能を強化することで、**市全体の質の確保・向上**を図ります。

1 配置計画：最終的にどうするの？ 《計画の目標、全体像》

【計画の目標】

施設	計画策定から概ね20年後に、計画策定時(87施設)の半数程度とします。 (87施設 ⇒ 45施設程度)
職員	施設の減少と併せて適正配置を進め、正職率について同規模政令市と同等の50～60%とします。 (正職率 約3割 ⇒ 約5～6割)

【参考 市立保育園配置計画策定以降の統廃合等の状況】

年度	内容	備考
2019	宮浦乳児保育園を万代保育園に統合	2020年2月に統合
2022	曾野木保育園・第二曾野木保育園を閉園し、私立保育園に統合	2021年度末閉園(2022年度民営化)
2023	新金沢保育園、古川保育園、敷島保育園を閉園	2023年度末閉園
2024	石山保育園を閉園予定	2024年度末閉園予定
2025	山ノ下保育園、大江山保育園を閉園予定	2025年度末閉園予定
2026	大山保育園、山湯保育園を閉園予定	2026年度末閉園予定

1 配置計画：どの施設をいつ対応するの？

- 各施設の具体的な対応時期については、施設の老朽化状況や児童数の推移状況、近隣施設での受入れの可能性などを踏まえて順次検討します。

市立保育園の耐用年数(税法上)到達時期一覧

区	～R4			R5～R9		R10～R14			R15～R19		R20～	
北区	太夫浜			早通北 太田	越岡 三ツ森	ちとせ 二葉	かやま 若葉	すみれ			早通南	木崎
東区	山ノ下 石山	大山 第二中野山	中野山 東中野山			山木戸	中山				大形	桃山
中央区	しなの	山湯		入舟		白山	長嶺	流作場	ロータリー		八千代 沼垂	万代 鳥屋野
江南区	両川 亀田第一	ことぶき 亀田第二	大江山	亀田第三		横越双葉	亀田第五		横越小杉		横越中央	亀田第四
秋葉区									新津東 小須戸	金津	矢代田	
南区	新飯田			臼井 にししろね	あじほ	諏訪木 月湯	根岸	大通	小林		白根	大鷲
西区	内野 坂井輪	上五十嵐 小針	坂井	大野	寺地	山田			木場		興野	黒崎なかよし
西蒲区						岩室 七浦	巻 中之口	松野尾	漆山西		和納 漆山東	巻つくし かきの実

早期に対応が必要な施設

※耐用年数は、税法上の減価償却資産耐用年数を参考に、木造30年、鉄骨・鉄筋コ50年で整理。下線は令6年4月時点で耐用年数を超過している施設(但し、全ての施設について耐震改修済みであり、安全性確保のための対応は行っています。)

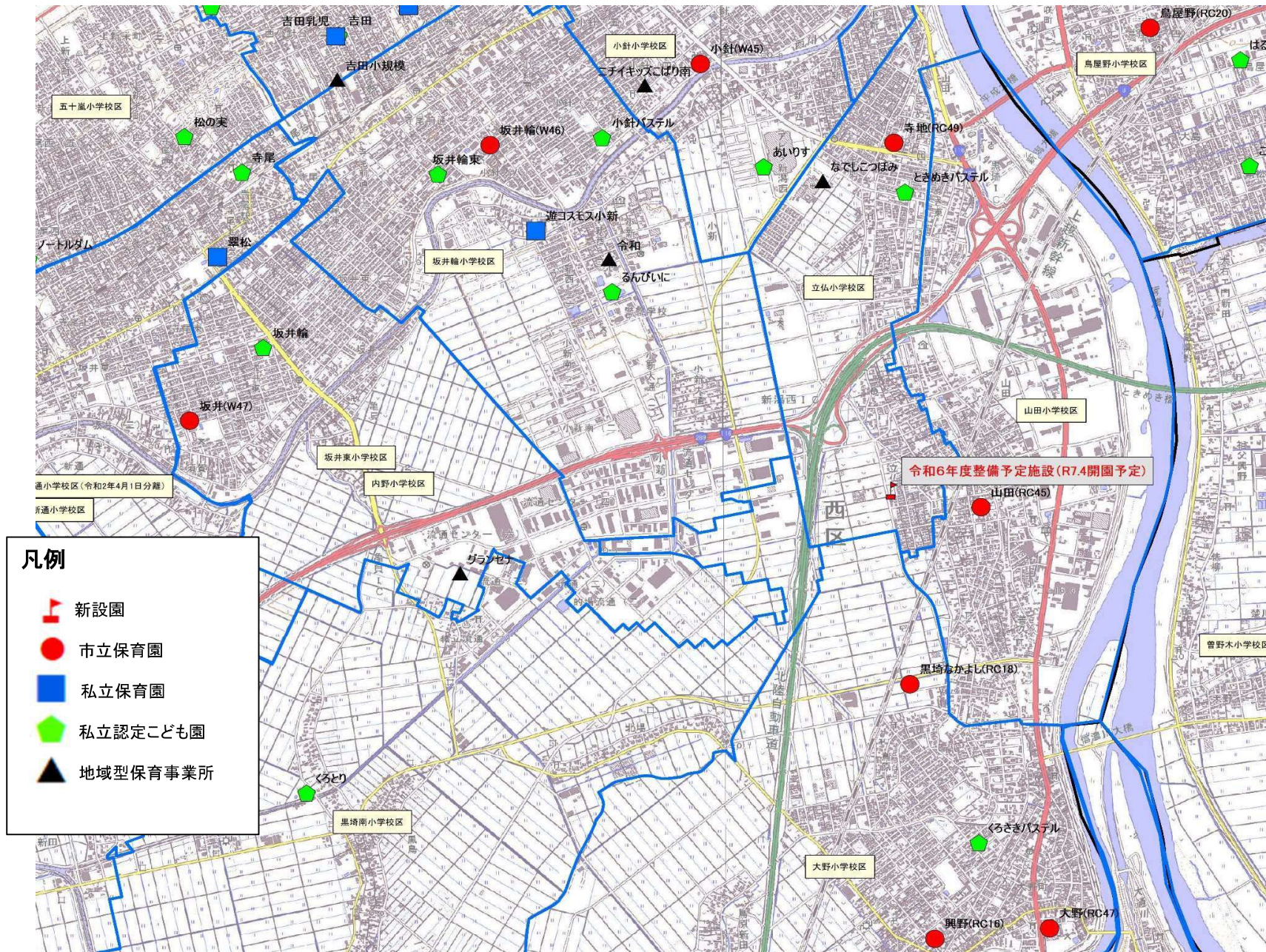
2 山田保育園閉園計画(案) :山田保育園の状況と閉園調整について

- 山田保育園は、築45年(鉄筋コンクリート造)であり、老朽化が進んでいる。
- また、安全上の問題はないものの、能登半島地震により大きな被害を受け、保育室が一室使用できない状況であり、良好な保育環境の確保が課題となっている。
- 一方で、施設近隣では、令和7年度に認定こども園の新設が予定されているなど、在園児の受入を一定数見込める状況にある。



以上の状況を踏まえ、今後閉園に向けた調整を進めていくこととした。

山田保育園周辺 教育保育施設位置図



2 山田保育園閉園計画(案) : 閉園までのスケジュール等について

(1) 閉園時期にかかる基本的な考え方

- 児童にとっての良好な保育環境を確保する観点から、できる限り早期に閉園を図ることが望ましいこと、及び、令和7年4月に新設される認定こども園において一定の受入枠を確保できることを踏まえ、令和7年度末をもって閉園することとしたい。

(2) 閉園公表から閉園までの想定スケジュール

R6年度	R7年度	
閉園公表(10月頃) ^{※1}	受入停止 ^{※2} 【近隣に新園開設】	閉園(3月)

※1 R7.4入園用の入園のてびきにて、閉園予定時期を公表

※2 原則、新規入園は受け付けない。ただし、在園児のきょうだいについては職員体制等を考慮し受け入れを検討(入園を希望の場合は西区役所健康福祉課へ相談)

(3) 公表から閉園までの園児推移について ※年度途中の入園及び転園は考慮していない。

R6年度(8月1日時点)	R7年度	令和8年4月(転園)
0歳(5人)→	1歳(5人)→	2歳(5人)
1歳(18人)→	2歳(18人)→	3歳(18人)
2歳(18人)→	3歳(18人)→	4歳(18人)
3歳(20人)→	4歳(20人)→	5歳(20人)
4歳(25人)→	5歳(25人)	
5歳(22人)		
108人	86人	61人

3 寺地保育園閉園計画(案) : 寺地保育園の状況と閉園調整について

- 寺地保育園は築50年を迎え、老朽化が進んでいるとともに、駐車場不足という課題を抱えています。
- また、安全上の問題はないものの、能登半島地震の影響を受けたことから、児童にとって良好な保育環境の確保が課題となっています。



以上の状況を踏まえ、今後閉園に向けた調整を進めたいと考えています。

3 寺地保育園閉園計画(案) : 概要・想定スケジュールについて

【概要】

- ・寺地保育園閉園後の主な受け皿となる新園を近隣に誘致し、新園開設と同時に閉園するスケジュールを想定しています。

(主な公募の条件)

規模	保育定員100~110名
開設エリア	寺地保育園から半径1kmを目途かつ西区内 【参考:次ページ参照】寺地保育園周辺 教育・保育施設位置図

- ・今年度中に新園運営事業者の募集を行い、令和9年度(令和9年4月)に開設することを想定しています。
- ・また、寺地保育園は、令和8年度末(令和9年3月)に閉園することを想定しています。
- ・なお、新園運営事業者の募集の結果、選定に至らなかった場合は、閉園時期の延期等を検討します。

【想定スケジュール】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
寺地 保育園	保護者説明	保護者説明(6~7月頃) ^{※1} 閉園決定(10月頃) ^{※2}	年度末をもって 閉園	—
新設園	事業者募集	事業者選定(4~6月頃)	建設工事	開設

※1 新園の募集・選定結果を踏まえ、令和7年度中に改めて保護者説明をさせていただきます。

※2 新園運営事業者選定後、改めて保護者の皆さま等へ新園の位置や事業者等を説明した後に、「閉園決定」とします。

寺地保育園周辺 教育・保育施設位置図



3 寺地保育園閉園計画(案) : 想定スケジュールどおり進捗した場合の園児推移

令和6年度 (8月1日時点)	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (転園)
		0歳→	1歳
	0歳→	1歳→	2歳
0歳(5人)→	1歳(5人)→	2歳(5人)→	3歳(5人)
1歳(12人)→	2歳(12人)→	3歳(12人)→	4歳(12人)
2歳(15人)→	3歳(15人)→	4歳(15人)→	5歳(15人)
3歳(19人)→	4歳(19人)→	5歳(19人)	
4歳(17人)→	5歳(17人)		
5歳(19人)			
87人	68人	51人	32人

※寺地保育園における入園募集は、閉園時(令和8年度末)まで従来どおり行う。

※新規入園及び転園は考慮していない。

(参考)山田保育園・寺地保育園スケジュール等比較

時期	山田保育園	寺地保育園
令和6年度	保護者説明会(6月) 閉園公表(10月頃)	保護者説明会(7月) 新園運営事業者募集
令和7年度	受入停止 近隣に新園開設(4月) 閉園(令和8年3月)	新園運営事業者選定(4~6月頃) 保護者説明(6~7月頃) 閉園決定(10月頃)
令和8年度		新園建設工事 閉園(令和9年3月)
令和9年度		新園開設(4月)